

京都府の ツキノワグマ

野生鳥獣は、自然環境を豊かにするとともに、人間の生活環境を守り育てていくことができないのです。

しかし、人間の活動等によってこれまでにない速さと規模で種の絶滅が進んでいると言われてます。

その中でも府内のツキノワグマは、京都府レッドデータブックの絶滅寸前種に指定されており、自然林の伐採・人工林化による食物環境の悪化、住宅地の拡大、交通網の発達などによる生息地域の分断化等により絶滅が危惧されています。

一方、民家周辺への出没やクマ剥ぎ被害を起こしており、この被害防除が問題となっています。

この冊子は、人とツキノワグマとの共存を図るため、現段階での方策をまとめたものです。

現在、ツキノワグマの生態や被害又はその防除方法については研究が進められているものの未だ不明な点が多い状況ですが、京都府では試行錯誤を繰り返しながら様々な取り組みを実施しています。

人と野生鳥獣の共生を図るためにも、みなさんのご理解、ご協力をお願いします。

京都府農林水産部森林保全課